

# 雲 北陵月報

No. 487

令和8年3月7日  
出雲北陵中学高等学校  
土江明文社 印刷

## 令和七年度 出雲北陵高等学校 第一一七回 卒業証書授与式

3月2日 本校体育館

2月初旬には山陰も大雪に見舞われたが、次第に寒さが緩み、3月2日は穏やかな朝を迎えた。次第に陽が昇ると、時折陽光が差し込む中、第117回卒業証書授与式が挙行された。

定刻に卒業生が入場し、国歌を斉唱した後、厳肅な雰囲気の中、158名の代表として、鈴木初陽に水谷厚志学校長より卒業証書が授与された。

続いて、式辞の中で学校長は、夢と希望に胸を膨らませて入学した卒業生の高校生活3年間を振り返り、努力を重ねて勉強や各種活動で成果を挙げたこと、また、各種大会に於いて輝かしい功績を残したことを称えた。続いて二つのことを臚の言葉として卒業生に語りかけた。一つは、人生の様々な経験を「点」に例え、前へ向かって進む時は「点」に見えても、振り返って見ると「線」になって繋がっている。一つ一つの点を大切にしてたくさんさんの経験をしたいと。

二つ目は、「青春」とは若さの象徴ではなく、人間の心の中にあり、澁刺とした情熱や輝きを失わなければ、歳をとっても失うものではない。今こそ「柔しく剛く」の校訓を胸に、「青春の

心を持ち続けて人生を歩んで欲しい」と語りかけ、式辞を結んだ。

また、永田教子PTA会長からは、家族の愛情を受けて立派に成長したことを讃えていただくとともに、人生を竹の節に例えて、立ち止まっている時も人生の成長には必要であり、竹のように真つすぐ歩んで欲しいと励ましの言葉をいただいた。

続いて、卒業生を代表し、高野愛未



学校長式辞

が、関西研修旅行の思い出や、3年生の時の全校で盛り上がった文化祭や体育祭の感動と喜びを話し、高校生活を通して先生方や両親の支えに感謝するとともに、友と励まし合いながら夢を叶える喜びを実感し、夢を追い求められることが何より幸せなことであると述べた。

式の最後は、3年間歌い慣れ親しんだ校歌を胸に、卒業生は参列者の大きな拍手に見送られながら、思い出深い学び舎をあとにした。



卒業証書授与(代表 鈴木初陽)



答辞(代表 高野愛未)

### 卒業生受賞者一覽

日本私立中学高等学校連合会会長賞

森崎菜々恵(34世)

島根県吹奏楽連盟表彰

八木萌葉(34世)

大國朔也(36世)

中村心菜(34世)

清水柚希(32世)

島根県高等学校体育連盟

バスケットボール専門部表彰和上賞敢闘賞

崎原匠海(33世)

島根県高等学校野球連盟部員表彰

森山恒史朗(33世)

島根県高等学校校体育連盟功労賞

加田小桜(35世)

皆勤賞(3カ年)

長岡佑真(31世)

石賀武蔵(32世)

川角光夢(32世)

加田小桜(35世)

橘 魁翔(36世)

特別教育活動功労賞

(団体賞)

・合唱部

・吹奏楽部

・男子ソフトテニス部

・女子ソフトテニス部

・卓球部

(個人賞)

美術部

・森崎菜々恵(34世)

# 卒業生会入会式

時 2月28日  
於 本校体育館

卒業式を控えた2月28日(土)に、本年度卒業生158名の卒業生会(和風会)入会式が挙行された。

入会式では、高橋裕三副会長から「卒業した母校にいつでも集って欲しい。進学や就職しても卒業生としての誇りを持って頑張ることを」と力強いお言葉で卒業生達を激励いただいた。今後、更に卒業生会の輪が更に広がっていくよう努力したい。

(卒業生会事務局 竹内康貴)

# 卒業直前講座

時 2月17日  
於 黎明ホール



卒業を間近に控えた3年生にとって、2回目の出校日となった2月17日に「卒業直前講座(2)」を実施した。

今回は、本校卒業生会会長でもある税理士の森脇俊樹様をお招きし、「租税教室」先輩からのアドバイス」という演題で、租税について分かりやすくご講演いただいた。



また、中国労働金庫出雲支店の小川恭平様には、「消費者講座」高校生のための金融対策」という演題で、多くの事例を参考にしながら、消費者トラブルについてご講演いただいた。どちらも1時間ほどの講演だったが、これから卒業していく生徒達にとって、大切な学びの時間となった。

# 第二十八回 中学校卒業証書授与式

時 3月9日 本校黎明館

## 卒業を祝して



中学副校長  
手銭 修司

桜のつぼみも膨らみ始め、春の気配を感じられるようになりました。21名の中学3年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

3年間という時間は、振り返ればあっという間だったかもしれません。しかし、その一日一日の中には、皆さんが笑い、悩み、挑戦し、成長してきた確かな足跡がぎざまれています。この出雲北陵中学校でしか経験できない、オーストラリア語学研修旅行や学園祭、校外講師特別講座など、そして日々の授業や部活動、校訓「柔しく、剛く」のもと行われる学校生活すべての場面で、うまくいったことだけでなく、失敗や迷いもあったことでしょうか。けれども、そのすべてが今の姿へと導いてくれた大切な経験です。

これから皆さんは、それぞれの道へと進んでいきます。新しい環境には期待と同時に不安もあるはずですが、周囲と比べて焦ったり、自分の力に自信が持てなくなったりすることもありません。越えてきた出来事、支えてくれた仲間や先生、家族の存在。そして何より、自分自身が努力してきたことをどうか思い出してください。またこれから皆さんが一步踏み出す

社会は先の見えない不安定なものになってきています。今年1月末に人類滅亡までの時間を象徴的に示す「終末時計」が発表され、過去最短の85秒前と更新されました。その原因は第一に「核の脅威」、第二に「気候変動」、第三に「AIのリスク」といわれています。「終末時計」は人類が自ら作り出した脅威に対する危機感を人々に理解してもらい、その解決を呼びかけることを目的としています。自分さえ良ければいいではなく、他を思いやり共に協力し、困難を乗り越える人間の力を見せていきたいものです。

どうか皆さんも自分を信じる勇氣と人を思いやる心を忘れず、そして一人ひとりがかけがえのない存在として、これからの人生が出会いと学びに満ちた素晴らしいものになることを心から願っています。

## 希望



三年担任  
和田 拓真

君達で始まり君達で終わる月曜日が好きでした。そう思える私はきつと、とても幸せな三年間を過ごしたのだからと思います。優しくてあどけなくて時々うるさい。そんな彼らを愛おしく思います。まだまだ先に思えた卒業の日が直前に迫り、ああもう戻れはしない過去を懐かしく思いながらも、声が

高かったあの頃のことは忘れてしまつて、大人びた姿が嬉しくもあり少しだけ寂しい気がします。日常の中で明らかに成長していく姿を見ること、感じる喜びであり、面白さでもありました。

そして私は、入学当時の写真をパソコン越しに眺めながらニヤついてしまふ。カワイイ。同時にそりや大変だった訳だと、納得させる表情の数々を目の前にしながらも、憎むことはできないでいる。実際ここに辿り着くまでに、悩んだことや辛いこともたくさんあったよね。自分のことが情けないと感じた時もありました。それでも誰一人欠けることなく、旅立ちの時を迎えられることを何よりも嬉しく思います。

いつだって帰る場所があり、君達のことを大切に思っている人達がいることを忘れないで。だから安心して、自由で、しなやかに強く。先の見えない世界ではあるけれど、それぞれの人生を存分に生きていってくださることを祈っています。そして自分を大切にね。君達の未来は希望だ。心からの「大丈夫」を添えて。卒業おめでとう。

## 中学校卒業生表彰者

- 日本私立中学高等学校連合会会長賞  
白根光太(中3)
- 島根県中学校体育連盟会長賞  
(男子バスケットボール部)  
長岡佑弥(中3)

## ★卒業記念品★

長机 5台

「ふるさと鳥根から世界へ」の主題のもと、各学年がそれぞれのテーマで活動した成果を発表しました。また、今年度は33名の保護者の皆様にもお越しいただきました。

中学1年

中学1年生は、昨年の10月22日に主題を『ふるさと発見・国宝松江城を中心としたふるさと鳥根の歴史巡り』として、『ばけばけ』ブームの松江市に向かい、班ごとに分かれてフィールドワークを行いました。



1組は「松江の観光業」「戦いの工夫」「松江城と武家屋敷の建築の秘密」「小泉八雲について」「松江城について」の五班。2組は「千鳥城と呼ばれる美しい外観」「松江城の仕掛けや周辺の地形」「小泉八雲のJAPANライフと松江城」を行ったことや過ごし方、「小泉八雲の秘密 hokuryo の探偵達が今突き止める」、「Matsume Castle in Matsue」の五班。

班ごとのテーマに沿って仲間と協力して調べたものをパワーポイントと模造紙（1年生教室前に掲示中）にまとめ発表しました。発表の中にはクイズ有り、音楽有りとは本当にこだわりある工夫が随所で見られました。

中学2年

中学2年生は、出雲市内の14事業所に協力いただき、昨年の10月22日、23日に職場体験学習を行いました。主題は「進路を考える」職場体験学習を通して、電話での打ち合わせからお礼状発送までの取り組みを含め、一人ずつその体験学習を発表しま



した。全員が「何のために働くのか」をテーマに、それぞれ着眼点を持って体験に臨みました。マニユアル通りにやる作業工程がある所、自分でどうすればいいのか考えて働く所など、職場によっては様々な働き方があることを体験できました。発表資料を作成する中で、事前学習・準備の大切さ、職場のコミュニケーションの必要性を実感しました。今回は全員が一人ずつ、一人ずつ発表したことについても、良い経験をする事ができました。

中学3年

中学3年生は、昨年10月20、28日にオーストラリア語学研修旅行を実施しました。昨年度に続き、クイーンズランド州・ブリスベン市にある「ウイズダム・カレッジ」に出かけました。主題は「ふるさと理解と国際理解を深める」で、出発前こそ心配や不安が尽きませんでしたが、目の前のことを一つひとつ何とかなり遂げる経験を積んだことで、大きな自信と充実した達成感に繋がりました。



発表会では、全ての班が英語での語りを交えた中に大きな成長ぶりを感じました。学年を追うごとに素晴らしいパワーポイントを作成してきましたが、映し出したスライドをただ説明するのではなく、語りかけるような口調や、クイズとの間がでるような記憶に残るパフォーマンスを披露しました。

どの学年も、テーマ設定から発表までの長期間に渡るこの『総合的な学習の時間』で学んだことを今後の学校生活に活かして欲しいと思います。

第3回合同道徳

時 2月16日  
中高棟ホール  
講師 上代昭文中学教頭

2月16日7限に、上代教頭先生による合同道徳が行われた。



今回は、「自分との約束」「自信貯金リスト(3つのハードル)」をテーマに話を聞いた。映し出された映像を見たり、黙読したり、ワークシートを記入したりと大忙しだったが、自信貯金を増やすためには「自分との約束を守る」「必要」と分かった。これができる自信貯金になる。一週間後、自信を貯金できた自分に会えますように!!

【生徒の感想】

今回の話ではあまり聞いたことのない「自信貯金」や「ピートさんの努力」などを知り、諦めないことの大切さ、自分自身で決めたことを実行するための具体的なことを決めることができました。チャレンジの内容を決めた時に、改めて自分の欠点を探すことができて良かったです。

福本凌也(42期)

今日の話を聞いて、毎日小さな目標のためにコツコツ頑張ることが必要だと思えました。自分との約束を守って、他人に何を言われても決して諦めないことが大切だと思いました。小さな目標とやりやすいので、一つひとつできるような大きな目標を叶えたいと思います。これから「最後までやり切る」という目標を持ち頑張りたいです。

西村瑛太(42期)

今回の話を通して、今までの自分は何か目標を立てても違うものに変えたり、途中でやめたりしてしまっていたので、小さな目標から継続してできるようなものにしたいと思いました。これからの一週間、今日立てた目標を決して忘れず実行していきたいよう意識したいです。一週間後には今日書いたゴールを達成したいと思いました。

藤原菜々子(42期)

たとえ自分に足りない才能、パーツがあったとしても、それを補うための努力を惜しまなければ結果が出るということが分かりました。今回の合同道徳が最後でしたが、上代先生のお蔭で内容が理解しやすくてとても楽しかったです。また、自分が発表をする時に、皆さんが拍手をしてくださり、自分の言いことを言う勇気が出ました。普段考えないことや、考えてもまとまらない話題について議論も知りましたが、今後の役に立ちそうな答えを知ることができ感謝しています。

シウイキング一茶イシユミール(43期)

乙 案内

第24回出雲北陵高等学校進級展

日時：3月21日(土) 9時～17時  
3月22日(日) 9時～16時  
場所：出雲文化伝承館 縁結び交流館  
(出雲市浜町520)

入場料：無料  
多数のご来場お待ちしております！

音楽コース クラスコンサート

本校音楽コース1・2年生が1年間の学習の成果を発表するクラスコンサートを開催します。皆様のご来場を関係者一同心よりお待ちしております。是非お越しくださいませう、ご案内申し上げます。

日時：3月14日(土)  
12時30分開場、13時開演  
場所：本校中高棟 北陵ホール  
入場料：無料

# 第25回出雲北陵高等学校卒業制作展の作品

卒業制作展は、美術・CGデザインコースの3年生が高校生活の集大成として約1年かけて取り組む活動です。作品制作だけでなく、展示計画や搬入出、広報などの展覧会運営やメイキングパネル作成、特設WEBサイト作成等も授業で取り組む総合的な探究学習です。今年の卒業生は6名、作品は計22点ありますが、紙面の都合上、今回は3点を紹介します。この他の作品は特設WEBサイトにて紹介していますがQRコードをスキャンしてぜひご覧ください。



卒業制作展  
WEBサイト



前島 武千代 (3-6 大社)

「Waiting for Tonkatsu」 F50、油彩  
講習会に参加するために金沢を訪れた際、たまたま立ち寄った定食屋の中で見た光景を描いています。お店に入った時に感じたどこか懐かしい雰囲気と、その場にいる人々の温もりを感じてほしいと思い描きました。



龜谷 百麗 (3-6 片江)

「二兎を追う者は一兎をも得ず」 B1、CG  
この作品は「二兎を追うものは一兎をも得ず」ということわざをテーマに制作しました。左右の物事を同時に行おうとしている人にエラー表記が出ている様子を表現しています。



布野 陽菜佳 (3-6 松一)

「New Style 8月号」 B1、CG  
ひまわり畑をバックに佇む女の子を主役に、夏の暑さを吹き飛ばすような爽やかな印象の表紙を制作しました。黄色と緑の鮮やかなコントラストが主役の女の子をより引き立てます。



会場の様子



DMデザインの検討



アクリル画の制作



今月の  
1枚  
「人間」

シヴィキング 茶イシユミール (中3市)



油絵の制作



ペン画の制作



最終発表会



CGの制作